

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

## 事業名

## 多様な学びの場創造事業

## 事業の経過・背景・課題

宇治市の特別支援学級の在籍者数、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒数は増加傾向である。障害特性は多様化しており、様々な教育的ニーズへの対応、多様な場での学びを実現するための支援や対応が学校に求められている。

特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援体制の構築、通常の学級に在籍する支援を必要とする児童生徒の学習面および生活面での支援が課題となっている。

## 取組内容

交付実績額： 4,227 千円

- 市内の小中学校3校をモデル校とし、専門性の高い関係機関（＝府立特別支援学校）・府教委との連携により、特別支援教育の効果的な指導方法の向上、校内支援体制を構築
- モデル校に元教員で特別支援教育について専門性の高いインクルーシブサポーターを配置し、まずは特別支援学級に在籍している児童生徒へのきめ細やかな支援や指導、支援体制の構築等についての研究や、インクルーシブ教育の先進校を視察
- 事業を通し、特別支援学級での指導力を高めることで、障害のある子どもが安心して地域の学校に通うことができる環境の整備を目指す

## 【実施スケジュール】

- 令和5年4月～：年間を通じて各校実践  
定期的（月1回）：インクルサポーター会議  
6月：宇治市インクルーシブ教育システム研究協議会開催  
令和6年3月：プロジェクト会議開催

## 事業の成果・今後の展望等

児童生徒の実態把握を多角的な視点から行い、よりよい支援方法や支援の場の検討を行うとともに、インクルーシブ教育は、通常の学級も含めた学校全体で行うものだという教員の意識改革を研修等を通して行い、授業のユニバーサルデザイン化などの授業改善に取り組むことができた。

また、特別支援学級での授業形態を見直し、小集団での一斉授業を充実させることで、互いを知り認め合う関係づくりが進んだ。

今後はさらに市内小中学校の特別支援学級における指導力を高めることに加えて、令和7年に設置予定の乳幼児期教育・保育支援センター（仮）との連携強化による就学前からの連続性のある支援を行う。

問い合わせ先

宇治市教育委員会学校教育課（0774-21-1879）

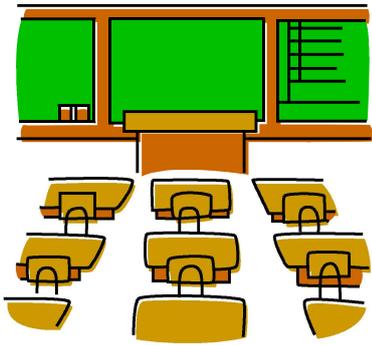
# インクル便り

令和5年5月 日

## 小版 UD & 合理的配慮

学期初めのあわただし中、全クラスの授業を参観させていただき、ありがとうございました。  
先生方が実践されていた授業の工夫(合理的配慮やユニバーサルデザインの視点)を紙面上で  
ご紹介できればと思います。

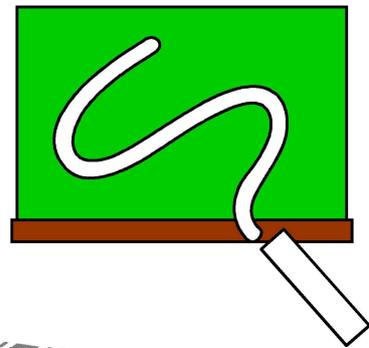
### 座席の配慮



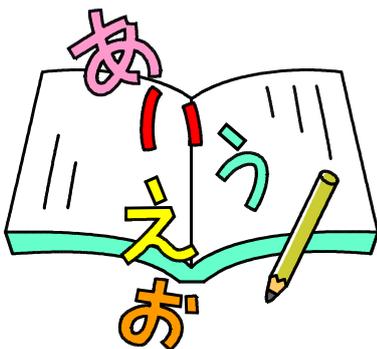
- \* 視力、聴力で気になる子
  - \* 不安感の強い子
  - \* 指示を聞き逃す子
  - \* 刺激に引っ張られやすい子
- } 前の方の座席
- \* 持ち物が散乱しやすい子 … 両端の列や一番後ろの座席
  - \* 本人と相談して、一番落ち着ける座席

### 板書の配慮

- \* 教科書のページ・問題番号を板書  
⇒ 指示を聞き逃しても黒板を見れば分かる！
- \* 児童の使っているノートのマス目を考慮した板書  
⇒ 黒板と同じように書けばいい！



### 新出漢字・文字の指導



- \* 空書きで筆順指導 先生は対面で左手で裏文字を書く  
普通バージョンとビッグサイズバージョン
- \* よくある間違いの紹介 間違い探し
- \* 形の特徴や構成部分を言語化
- \* 覚えやすいエピソード  
「牛に角はあるけど、午(うま)にない」  
先生が筆順や形を間違っていたという話

まだまだありますので、続きは次回に…